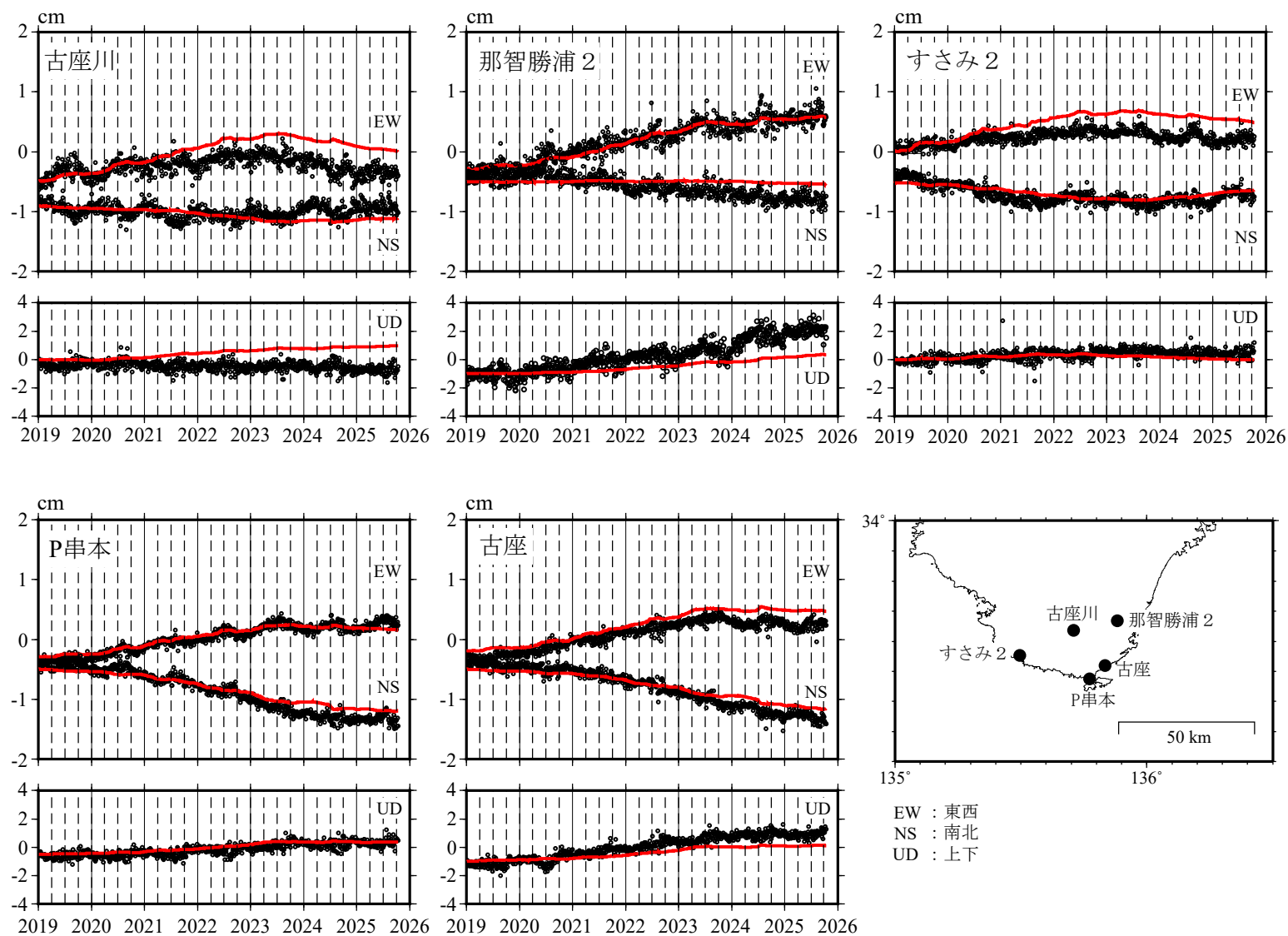
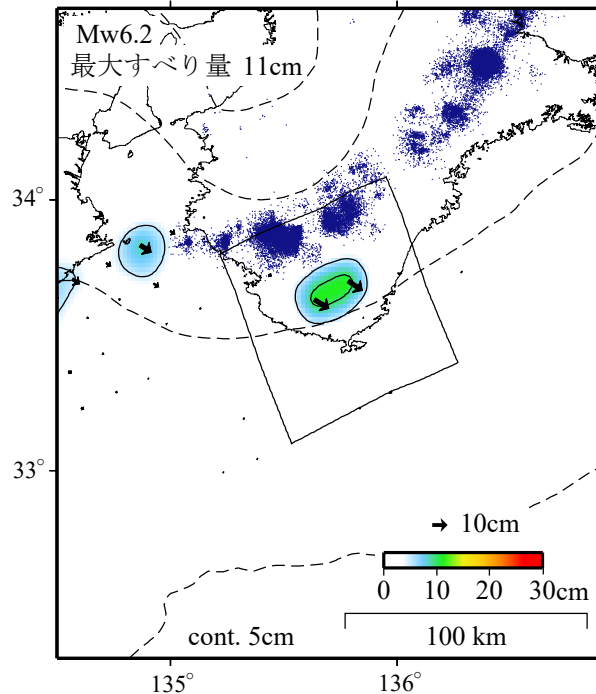


紀伊半島南部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)
時間依存のインバージョン

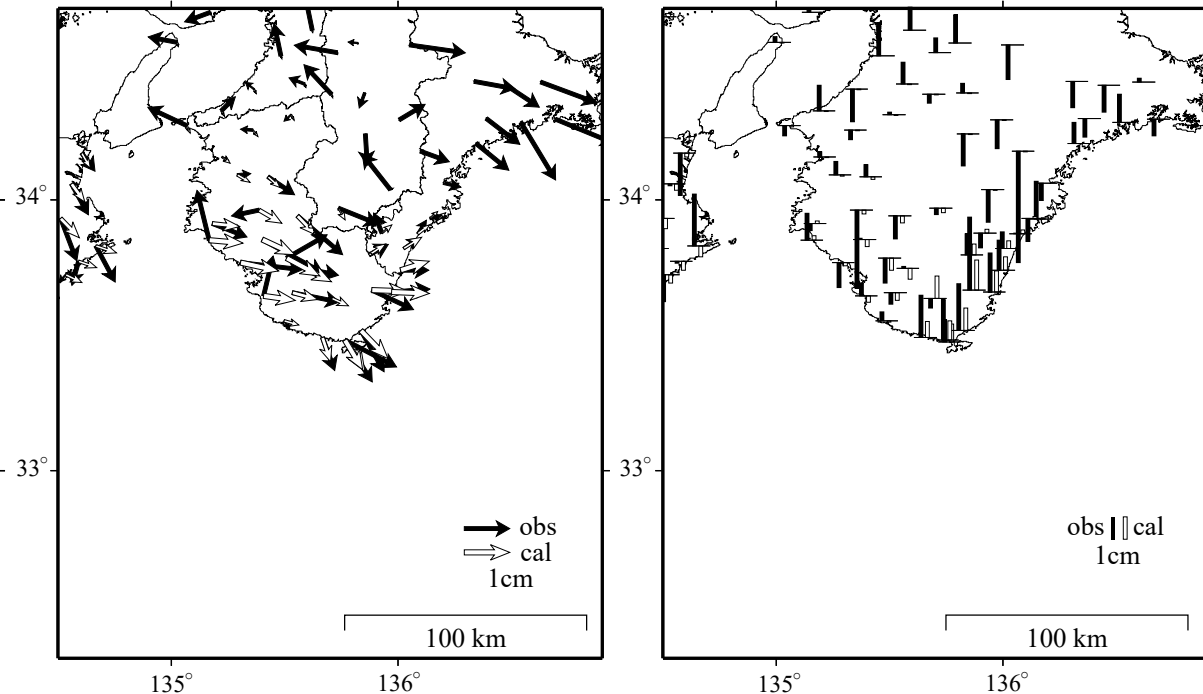


GNSSデータから推定された紀伊半島南部の長期的ゆっくりすべり(暫定)

推定すべり分布
(2020-01-01/2025-10-11)



観測値(黒)と計算値(白)の比較
(2020-01-01/2025-10-11)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載している。
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示している。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で示している。

使用データ：GEONETによる日々の座標値(F5解)

- ・F5解(2019-01-01/2025-10-11)
- ・トレンド期間(四国東部・紀伊半島)：2017-01-01/2019-01-01
(志摩半島)：2020-07-01/2022-07-01 (年周・半年周成分は補正していない)

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向：プレートの沈み込み方向に拘束

青丸：低周波地震(気象庁一元化震源)(期間：2020-01-01/2025-10-11)

固定局：三隅

*モーメント：断層運動のエネルギーの目安となる量。

*電子基準点の保守等による変動は補正している。

*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。

*共通誤差成分を推定している。

*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している(Suito, 2017)。

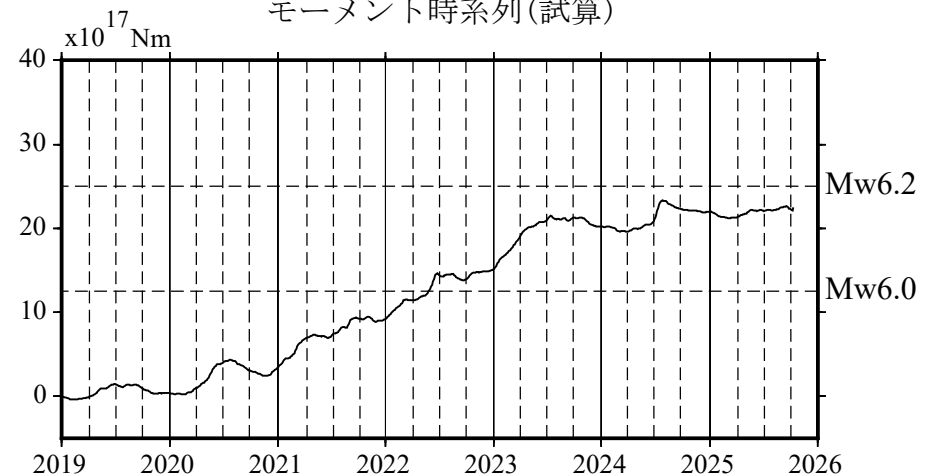
*種子島の地震(2019-01-08, M6.0)、日向灘の地震(2019-05-10, M6.3; 2022-01-22, M6.6)に伴う地殻変動は補正している。

*豊後水道の地震(2024-04-17, M6.6)、日向灘の地震(2024-08-08, M7.1; 2025-01-13, M6.6)に伴う地殻変動は補正している。

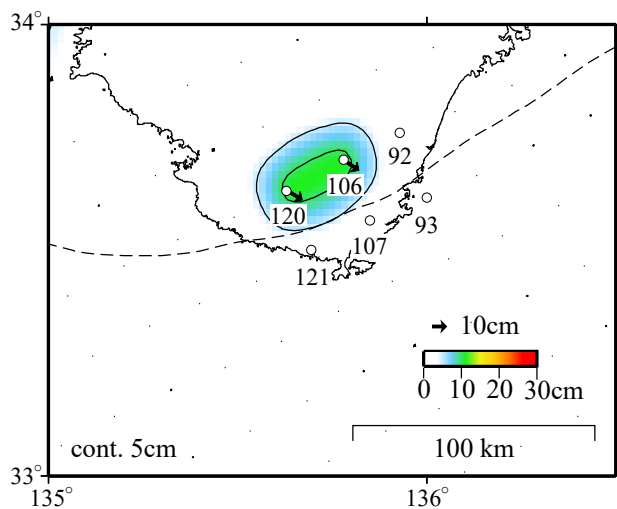
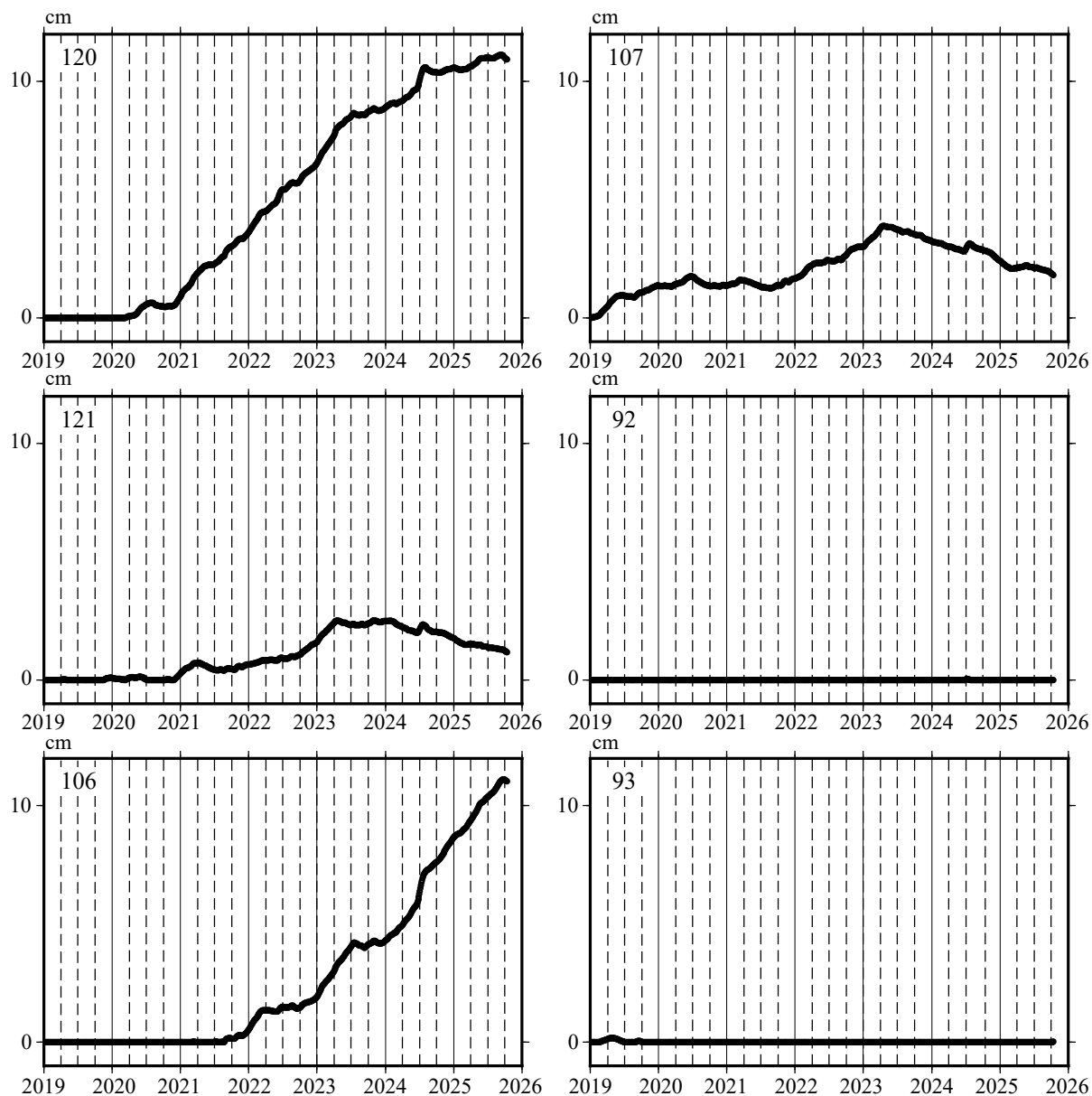
*令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している(Suito, 2025)。

*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。

モーメント時系列(試算)



紀伊半島南部の長期的ゆっくりすべり
各グリッドにおけるすべりの時間変化 時間依存のインバージョン



プレートの沈み込み方向と平行な方向の変化を示している。

すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示している。

推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で示している。